

No.	取り組み項目		
8	④医療費の負担軽減		
	現状と課題	高齢化の進展や医療技術の高度化、生活習慣病の増加等に伴い医療費が増えていることにより、町民の保険料負担が増え、収納率の低下や滞納の増加につながっている。	現状及び目標 〈現状〉平成22、23年度 広報、ホームページでの周知、保険証発送時に希望カードの同封 〈目標〉後発医薬品の利用促進通知の実施 平成24年度：検討／平成25年度：実施／平成26年度：実施
	取り組みの内容	病気の予防、早期発見・早期治療を勧めることを第一としながら、保険給付の適正化に向けた取り組みの一つとして、後発医薬品への切り換えにより一定の削減効果が得られる被保険者に対し、負担額の差を通知して切り換えを奨励し、医療費負担の軽減と国保財政の健全化を図る。 あわせて、医療機関等にも切り換えの奨励について協力を仰ぐ。	主管課 保険年金課 関係課 健康・スポーツ課
			期間全体の目標額 4,000万円の減

スケジュールと状況		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	出納整理期間	年度実績	進捗状況
24年度	スケジュール	6月 後発医薬品の利用促進について広報掲載 パンフレット配布	8月 後発医薬品差額通知発送 対象者：後発医薬品への切り換えによる効果額100円以上の人		2月 後発医薬品差額通知発送 対象者：8月発送時と同じ		後発医薬品差額通知の発送を実施	<input checked="" type="checkbox"/> 予定以上 <input type="checkbox"/> 予定どおり <input type="checkbox"/> 遅れ
	実績	6/1 広報掲載 4～6月 パンフレット配布	8/6 差額通知(1,136件)発送 7～9月 パンフレット配布	10～12月 パンフレット配布 差額通知発送者のうち後発医薬品に切り替えた人 90人(累計)	2/4 差額通知(314件)発送 1～3月 パンフレット配布 差額通知発送者のうち後発医薬品に切り替えた人 662人(累計)	4～5月 パンフレット配布		
	実施内容	6月 後発医薬品利用促進記事を広報に掲載 4～6月 後発医薬品利用促進に関するパンフレット配布	8月 後発医薬品利用促進のため、差額通知発送	10～12月 後発医薬品利用促進に関するパンフレット配布	1～3月 後発医薬品利用促進に関するパンフレット配布	4～5月 後発医薬品利用促進に関するパンフレット配布		
	その他取り組み事項等	・医薬品削減効果実績帳票により事業効果を測定 ・後発医薬品への切り換えの奨励について、医療機関(薬剤師会等)に協力を依頼						
次年度に向けた課題		普及・奨励に関し、別手法についても検討が必要。						
単年度における取り組み結果としての効果額【参考数値】		76万円の減	(算出根拠) 国保加入者のうち後発医薬品差額通知を発送した者(後発医薬品未利用者)について、通知発送後に後発医薬品を利用した額と新薬の利用を仮定した額とを比較したものの					

スケジュールと状況		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	出納整理期間	年度実績	進捗状況
25年度	スケジュール	6月 後発医薬品利用促進記事を広報に掲載 パンフレット配布	8月 後発医薬品差額通知発送 対象者：後発医薬品への切り換えによる効果額100円以上の人		2月 後発医薬品差額通知発送 対象者：8月発送時と同じ		後発医薬品差額通知の発送を実施	<input type="checkbox"/> 予定以上 <input checked="" type="checkbox"/> 予定どおり <input type="checkbox"/> 遅れ
	実績	6/1 広報掲載 4～6月 パンフレット配布	8/10 差額通知(479件)発送 7～9月 パンフレット配布	10～12月 パンフレット配布	2/10 差額通知(575件)発送 1～3月 パンフレット配布	4～5月 パンフレット配布		
	実施内容	6月 後発医薬品利用促進記事を広報に掲載 4～6月 後発医薬品利用促進に関するパンフレット配布	8月 後発医薬品利用促進のため、差額通知発送	10～12月 後発医薬品利用促進に関するパンフレット配布 ※平成24年度からの取り組み効果額計138万円	2月 後発医薬品利用促進のため、差額通知発送 1～3月 後発医薬品利用促進に関するパンフレット配布	4～5月 後発医薬品利用促進に関するパンフレット配布		
	その他取り組み事項等	・医薬品削減効果実績帳票により事業効果を測定 ・後発医薬品への切り換えの奨励について、薬剤師会等に協力を依頼 ・県のモデル事業における保健指導時での周知 ・他課所管の事業やイベントにおいて、後発医薬品利用促進に関する周知ができるよう、連携を図った。						
今後の課題		後発医薬品への切り換えの普及・奨励に関し、別手法についての検討が必要						
単年度における取り組み結果としての効果額【参考数値】		167万円の減 ※24年度からの累積効果額	(算出根拠) 国保加入者のうち平成24年度から平成25年度までに後発医薬品差額通知を発送した者(後発医薬品未利用者)について、通知発送後に後発医薬品を利用した額と新薬の利用を仮定した額とを比較したもの 平成24年度1回目発送 効果額計 1,171,837円 平成24年度2回目発送 効果額計 115,771円 平成25年度1回目発送 効果額計 376,843円 平成25年度2回目発送 効果額計 5,033円					

スケジュールと状況		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	出納整理期間	年度実績	進捗状況
26年度	スケジュール	6月 後発医薬品利用促進記事を広報に掲載 パンフレット配布	8月 後発医薬品差額通知発送 対象者：後発医薬品への切り換えによる効果額100円以上の人		2月 後発医薬品差額通知発送 対象者：8月発送時と同じ		後発医薬品差額通知の発送を実施	<input type="checkbox"/> 予定以上 <input checked="" type="checkbox"/> 予定どおり <input type="checkbox"/> 遅れ
	実績	6/1 広報掲載 4～6月 パンフレット配布	8/8 差額通知(807件)発送 7～9月 パンフレット配布	10～12月 パンフレット配布	2/10 差額通知(299件)発送 1～3月 パンフレット配布	パンフレット配布		
	実施内容	6月 後発医薬品利用促進記事を広報に掲載 4～6月 後発医薬品利用促進に関するパンフレット配布	8月 後発医薬品利用促進のため、差額通知発送	10～12月 後発医薬品利用促進に関するパンフレット配布	2月 後発医薬品利用促進のため、差額通知発送 1～3月 後発医薬品利用促進に関するパンフレット配布	後発医薬品利用促進に関するパンフレット配布		
	その他取り組み事項等	・医薬品削減効果実績帳票により事業効果を測定 ・保険証発送時に後発医薬品希望カードを同封 ・県のモデル事業における保健指導時での周知 ・医療機関等への適正な受診で医療費を減らすポイントを広報						
単年度における取り組み結果としての効果額【参考数値】		667万円の減 ※24年度からの累積効果額	(算出根拠) 国保加入者のうち平成24年度から平成26年度までに後発医薬品差額通知を発送した者(後発医薬品未利用者)について、通知発送後に後発医薬品を利用した額と新薬の利用を仮定した額とを比較したもの 平成24年度1回目発送 効果額計 3,347,100円 平成24年度2回目発送 効果額計 741,018円 平成25年度1回目発送 効果額計 1,281,004円 平成25年度2回目発送 効果額計 716,075円 平成26年度1回目発送 効果額計 568,345円 平成26年度2回目発送 効果額計 19,870円					